

<英文法超基礎(54)> Lv. ★★☆☆☆ 対象: 中2~/中3~/高校~

① 名詞用法の不定詞②

名詞用法は (1.) の意味で (2.) となるカタマリ [←名詞句のため] を作る! (復習)
 → 名詞の働きをするが、(3.) にならないのに注意!
なるのは動名詞! (またやります!)

<形式目的語構文>

(X) He found to understand her difficult. 「彼は彼女を理解するのは難しいとわかった」
S V O C

→ He found it difficult to understand her.
S V O C ↑ itはto以下を指す!

★ 形式目的語構文でよく使う動詞

- (4.) it ~ to V 「5. 」
- (6.) it ~ to V 「7. 」
- (8.) it ~ to V 「9. 」
- (10.) it ~ to V 「11. 」

<疑問詞 + to V>

「疑問詞 + to V」で (12.) を作る! SやCにもなるが、動詞のOとして使われることが多い。

- (13.) : 「14. 」
 - (15.) : 「16. 」
 - (17.) : 「18. 」
- 「to V」の後ろは (19.) 形になる!

→ I don't know <what to say> 「私は何を言うべきかわからない」

- (20.) : 「21. 」 「22. 」
- (23.) : 「24. 」
- (25.) : 「26. 」

I don't know <how to swim> 「私は泳ぎ方を知らない」

- (27.) はない!
- (28.) : 「29. 」の形もある!
- 「疑問詞 + to V」は (30.) で言い換えられる!

I don't know <what I should say >

2 名詞 + to V の3つの関係

不定詞の形容詞用法は (31.) の形で後ろから名詞を修飾する。
→ 「名詞」と「to V」で、「3つの関係」のどれかを考える必要がある!

① 「名詞」と「to V」が (32.) 関係になっている!

I have many things [to do] today. 「今日はすることがたくさんある。」
many things が to do の O になっている! (← do many things)

★このタイプは「to V」の後ろが (33.) 形となる!

② 「名詞」と「to V」が (34.) 関係になっている!

I need someone [to help me]. 「私には助けてくれる人が必要だ。」
someone が to help の S になっている! (← someone helps me.)

③ 「名詞」と「to V」が (35.) 関係になっている!

→ 「to V」が「名詞」の内容を説明する。「36. 」と訳す!

I have no desire to go abroad. 「私は海外へ行きたいという願望はない。」

この用法は、decide to V → the decision to V (「Vする」という決定)、
able to V → the ability to V (「Vする」という能力)、
attempt to V → the attempt to V (「Vする」という試み) など。
ある程度決まった形が多い!

④ その他

It is time [to get up.] 「もう起きる(ための)時間だ。」

I had no chance [to meet her] 「私には彼女に会う機会がなかった。」

3 副詞用法の重要表現

① (37.)

「38. 」 「39. 」

This book is too difficult to read. 「この本は読むには難しすぎる。」

② (40.) : 「41. 」 「42. 」

She was kind enough to help me. 「彼女は私を手伝ってくれるほど親切だった。」